

事業報告書

令和8年5月30日

石巻市（施設名 石巻健康センター あいプラザ・石巻）			
法人・団体名	フクシ・オーエンス共同事業体 代表企業 株式会社 フクシ・エンタープライズ		
代表者名	代表取締役 福士 朝尋	設立年月日	昭和58年4月27日 (共同事業体： 平成20年12月1日)
所在地	東京都江東区大島一丁目9番8号		
電話番号	(03)3681-0294	FAX番号	(03)3681-0299
E-mail	fep0294@mx3.alpha-web.ne.jp		

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
かくだスポーツ ビレッジ	宮城県角田市青木 ほか	指定管理者（構成） 施設管理運営	自 R4年4月1日 至 R9年3月31日 （現在1期目）
岩沼市体育施設	宮城県岩沼市里の社 ほか	指定管理者（代表） 施設管理運営	自 H31年4月1日 至 R11年3月31日 （現在2期目）
塩竈市スポーツ 施設	宮城県塩竈市字杉の 入浦	指定管理者（構成） 施設管理運営 自主事業運営	自 R5年4月1日 至 R10年3月31日 （現在1期目）
柴田町総合体育 館	宮城県柴田郡柴田町 大字船岡	建物賃借方式＋指定 管理者（構成） 運営維持管理	自 R4年4月1日 至 R24年3月31日 （現在1期目）
おおがわら千本 桜スポーツ整備・ 維持管理運営事 業	宮城県大河原町	PPP-BTO方式（構成） 運営業務	自 R8年4月1日 至 R25年3月31日
大河原総合体育 館等スポーツ施 設	宮城県大河原町小島	指定管理者（代表） 施設管理運営 自主事業運営	自 R6年4月1日 至 R9年3月31日
大河原町パーク ゴルフ場	宮城県柴田郡大河原 町大谷字中川原43	指定管理者（単独） パークゴルフ場の運 営・管理業務	自 R7年4月1日 至 R9年3月31日
名取市室内遊戯 施設	宮城県名取市杜せき のした	業務委託 子ども遊び場の管 理・運営業務	自 R7年4月1日 至 R10年3月31日

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
グリーンピア岩沼	宮城県岩沼市北長谷字切通	業務委託 総合受付業務 プール監視業務 各種運動教室業務	自 H25年4月1日 至 R9年3月31日
川内村室内型村民プール	福島県双葉町川内村	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H28年4月1日 至 R9年3月31日 （現在3期目）
矢吹町屋内運動場	福島県西白河郡矢吹町小松	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H30年4月1日 至 R11年3月31日 （現在3期目）
田村市運動公園内体育施設等	福島県田村市船引町船引字遠表	指定管理者（代表） 施設管理運営 自主事業運営	自 R2年4月1日 至 R11年3月31日 （現在3期目）
田村市屋内子どもあそび場	福島県田村市船引町船引字源次郎	指定管理者（単独） 屋内子どもあそび場の管理運営業務	自 R7年4月1日 至 R10年3月31日 （現在1期目）
南相馬市小高区子どもの遊び場	福島県南相馬市小高区関場	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 R3年4月1日 至 R10年3月31日 （現在2期目）
南相馬市民プール	福島県南相馬市	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 R6年4月1日 至 R12年3月31日 （現在2期目）
喜多方市屋内子どもあそび場「めぐおらざ」	福島県喜多方市字稲清水	業務委託 屋内子どもあそび場の管理運営業務 等	自 R4年4月1日 至 R9年3月31日

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
浪江町室内アスレチック施設	福島県双葉郡浪江町	指定管理者(単独)	自 R8年4月1日 至 R13年3月31日
横手市立体育館	秋田県横手市赤坂	指定管理者(構成) 総合体育館、多目的 室など運営管理業務	自 R8年4月1日 至 R13年3月31日
盛岡南公園野球場(仮称)整備事業	岩手県盛岡市永井	PPP-BTO方式(構成) 運営維持管理	自 R5年4月1日 至 R20年3月31日 (現在1期目)
江東区営運動場 夢の島総合運動場・区営プール	東京都江東区夢の島	指定管理者(代表) 施設管理運営	自 H23年4月1日 至 R13年3月31日 (現在4期目)
江東区立堅川河川敷公園	東京都江東区亀戸	指定管理者(代表) 施設管理運営 自主事業運営	自 R3年4月1日 至 R13年3月31日 (現在2期目)
墨田区総合運動場	東京都墨田区堤通	指定管理者(代表) 施設管理運営	自 R1年12月1日 至 R11年3月31日 (現在2期目)
大田区立東調布公園水泳場	東京都大田区南雪谷	指定管理者(代表) 施設管理運営 自主事業運営	自 H24年4月1日 至 R9年3月31日 (現在3期目)
北区立パノラマプール十条台外3施設	東京都北区中十条ほか	指定管理者(単独) 施設管理運営 自主事業運営	自 H30年4月1日 至 R9年3月31日 (現在2期目)

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
北区立元気ぶらざ・北区志茂老人いこいの家	東京都北区志茂	指定管理者（代表） 施設管理運営 自主事業運営	自 H26年4月1日 至 R9年3月31日 (現在3期目)
日野市立グラウンド等	東京都日野市万願寺ほか	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H24年4月1日 至 R9年3月31日 (現在3期目)
武蔵村山市総合体育館・体育施設	東京都武蔵村山市岸ほか	指定管理者（代表） 施設管理運営 自主事業運営	自 H20年4月1日 至 R10年3月31日 (現在4期目)
多摩市立総合体育館・多摩市体育施設及び多摩東公園	東京都多摩市東寺方ほか	指定管理者（代表） 施設管理運営	自 R25年4月1日 至 R12年3月31日 (現在4期目)
青梅市立総合体育館及び青梅市体育施設	東京都青梅市河辺町ほか	指定管理者（代表） 施設管理運営	自 H26年4月1日 至 R11年3月31日 (現在3期目)
八王子市北野環境学習センター（あったかホール）	東京都八王子市北野町	指定管理者（代表） 施設管理運営 自主事業運営	自 R5年8月1日 至 R10年3月31日 (現在1期目)
袖ヶ浦市社会体育施設	千葉県袖ヶ浦市坂戸市場ほか	指定管理者（代表） 施設管理運営	自 R8年4月1日 至 R12年3月31日 (現在1期目)
横芝町光B&G海洋センター光しおさい公園	千葉県山武郡横芝光町木戸ほか	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H20年4月1日 至 R11年3月31日 (現在5期目)

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
四街道市都市公園	千葉県四街道市和田ほか	指定管理者（構成） トレーニング室運営 自主事業運営 野外プール運営管理	自 H21年4月1日 至 R11年3月31日 (現在4期目)
四街道市温水プール	千葉県四街道市山梨	指定管理者（構成） プール管理運営	自 H26年10月1日 至 R10年3月31日 (現在4期目)
我孫子市民体育館及び有料公園施設	千葉県我孫子市古戸	指定管理者（構成） トレーニング室管理運営 自主事業運営	自 H27年4月1日 至 R10年3月31日 (現在3期目)
相模原市立北市民健康文化センター	神奈川県相模原市下九沢	指定管理者（構成） プール管理業務 自主事業運営	自 H21年4月1日 至 R10年3月31日 (現在5期目)
相模原市立北総合体育館他2施設	神奈川県相模原市下九沢	指定管理者（構成） 北総合体育館トレーニングルーム管理運営 自主事業運営	自 H26年4月1日 至 R11年3月31日 (現在3期目)
横浜市宮沢町第二公園プール	神奈川県横浜市中区元町	指定管理者（単独） 夏季のみプール管理運営	自 H19年4月1日 至 R12年3月31日 (現在5期目)
横浜市しらゆり公園プール	神奈川県横浜市長区中田東	指定管理者（単独） 夏季のみプール管理運営	自 H19年4月1日 至 R12年3月31日 (現在5期目)
富士見市立市民総合体育館	埼玉県富士見市大字鶴馬	指定管理者（代表） 施設管理運営	自 R1年4月1日 至 R11年3月31日 (現在2期目)

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
小川町ふれあいプラザおがわ	埼玉県比企郡小川町東小川	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H20年4月1日 至 R11年3月31日 (現在5期目)
大田原市屋内温水プール・大田市立黒羽中学校屋内温水プール	栃木県大田原市若草ほか	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 R7年4月1日 至 R12年3月31日 (現在3期目)
那珂川町室内水泳場及び小川庭球場	栃木県那須郡那珂川町小川	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 R4年4月1日 至 R9年3月31日 (現在1期目)
栃木市北部健康福祉センター	栃木県栃木市西方本城	指定管理者（単独） 施設管理運営	自 R7年4月1日 至 R10年3月31日 (現在2期目)
神栖市はさきマリンプール	茨城県神栖市はさき	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 R5年2月1日 至 R10年3月31日 (現在1期目)
長野市真島総合スポーツアリーナ	長野県長野市真島町真島ほか	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H18年4月1日 至 R11年3月31日 (現在5期目)
長野市営青垣公園市民プール	長野県長野市松代	指定管理者（単独） 夏季のみプール管理運営	自 H19年4月1日 至 R11年3月31日 (現在6期目)
長野市営茶臼山運動場ほか4施設	長野県長野市篠ノ井岡田ほか	指定管理者（単独） 施設管理運営	自 H19年4月1日 至 R9年3月31日 (現在5期目)

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
長野市営北部スポーツ・レクリエーションほか2施設	長野県長野市大字三才 ほか	指定管理者（単独） 施設管理運営	自 H28年4月1日 至 R13年3月31日 (現在3期目)
高森町健康センターあさぎり	長野県下伊那郡高森町下市田	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H24年4月1日 至 R9年3月31日 (現在3期目)
飯田運動公園プール	長野県飯田市中央通り ほか	指定管理者（単独） 施設管理運営	自 H27年4月1日 至 R10年3月31日 (現在3期目)
木曽町温水プール	長野県木曽郡木曽町福島	指定管理者（単独） 施設管理運営 自主事業運営	自 H29年4月1日 至 R12年3月31日 (現在3期目)
富山市民プール及び城東ふれあい公園庭球場	富山県富山市荒川	指定管理者（代表） 施設管理運営 自主事業運営	自 R3年4月1日 至 R13年3月31日 (現在1期目)
加古川ウェルネスパーク加古川海洋文化センター	兵庫県加古川市東神吉町天下原	指定管理者（構成） 施設管理運営 自主事業運営	自 H31年4月1日 至 R11年3月31日 (現在2期目)
日野市南平体育館	東京都日野市南平	指定管理者（単独） 受付管理業務 教室事業の企画・運営・指導 等	自 R7年4月1日 至 R12年3月31日 (現在1期目)
真岡市総合運動公園	真岡市小林	指定管理者（単独） 陸上競技場兼サッカー場など管理・運営業務	自 R8年4月1日 至 R13年3月31日 (現在1期目)

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
新川こども施設 整備・運営事業	富山県魚津市宮津	PFP-BT0方式（構成） 室内遊戯施設など運 營業務	自 R6年4月1日 至 R25年3月31日 （現在1期目）
高森町矢吹ほたる パーク	高森町山吹	指定管理者（単独） 人工芝グラウンドなど 維持管理業務	自 R8年4月1日 至 R13年3月31日 （現在1期目）
射水市フットボ ールセンター	富山県射水市海竜町	指定管理者（代表） 野外フットサル場2 面など維持管理業務	自 R8年4月1日 至 R11年3月31日
青梅エクストリ ームスポーツパ ーク	東京都青梅市	指定管理者（単独） スケートボードパー クの管理・運營業務	自 R7年4月1日 至 R11年3月31日 （現在1期目）
江東区夢の島 スケートボード パーク	江東区夢の島	指定管理者（単独） スケートボードパー クの管理・運營業務	自 R8年4月1日 至 R13年3月31日 （現在1期目）
長野市北部スポ ーツ・レクリエ ーションパーク	長野県長野市	指定管理者（単独） スケートパークの管 理・運營業務	自 H28年4月1日 至 R13年3月31日 （現在3期目）
富山市ストリー トスポーツパー ク	富山県富山市婦中町	指定管理者（単独） アーバンスポーツパ ークの管理・運營業 務	自 R8年4月1日 至 R13年3月31日 （現在1期目）
鴨川市総合運動 施設	千葉県鴨川市太尾	業務委託 スポーツ施設の維持 管理業務	自 R5年4月1日 至 R9年3月31日

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
江東区スポーツ会館	東京都江東区北砂	業務委託 トレーニングルーム 管理指導業務	自 H9年4月1日 至 R9年3月31日
江東区健康センター	東京都江東区東陽	業務委託 トレーニングルーム 管理指導業務 リハビリ事業補助業務	自 H7年4月1日 至 R9年3月31日
江東区立豊洲西小学校体育館棟	東京都江東区豊洲	業務委託 総合受付業務 プール管理運営業務 維持管理業務 等	自 H27年4月1日 至 R9年3月31日
府中市郷土の森総合体育館	東京都江東区豊洲	業務委託 施設運営業務 教室事業の企画・運営・指導 等	自 S63年4月1日 至 R9年3月31日
古河市保健福祉センター「健康の駅」	茨城県古河市駒羽根	業務委託 ヘルストレーニング事業	自 H16年4月1日 至 R9年3月31日
古河市福祉の森会館	茨城県古河市新久田	業務委託 トレーニングルーム の運営指導業務	自 H31年4月1日 至 R9年3月31日
下野市ふれあい館	栃木県下野市三王山	業務委託 プール監視業務 水泳教室指導業務	自 H17年4月1日 至 R9年3月31日
栃木県大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」	栃木県栃木市大平町西野田	業務委託 トレーニングルーム の運営指導業務	自 H20年4月1日 至 R9年3月31日

指標名		単位	目標値	実績値
活動指標	① 運動系講座開設数	講座	① 1 2	① 1 2
	② 文科系講座開設数		② 1 2 0	② 1 4 5
成果指標	① 運動系講座会員数	人	① 7 2 0	① 6 6 3
	② 文化系講座受講者数		② 6 2 6	② 8 0 0

管理業務に関する内容 (別紙可)

1 施設の管理運営状況

指定管理4期目2年目を迎え「会員システム運用の浸透・拡大」をテーマに掲げ、運営を行なった。

昨年度より導入した運動系講座会員制や券売機運用について、利用者への周知および定着を進めるとともに、継続的な利用促進を図った。また、事務負担軽減を目的とした会員管理システム導入に向けての準備を進めるなど、運営体制のスマート化に取り組んだ。

さらに、文化系講座については講座整理やサークル化を進め、利用者の自主的な活動への移行を支援するなど、将来的な安定経営に向けた基盤整備を行なった1年となった。

《会員・受講生集客について》

会員制を導入して2年目となるプール・トレーニング会員については、昨年度の延べ在籍者数と比較して6%増となり、継続利用者数が増加した。特にシニア層を中心に、定期的な運動習慣の定着が見られ、健康維持・増進への意識向上につながっている。

その他の講座受講者数については、大人向け体の健康づくり講座が1%増となった一方、大人向け心の健康づくり講座は20%減となるなど、一部講座では減少傾向が見られた。その中でも、ヨガや太極拳など無理なく身体を動かしながら機能改善を目的とする講座や、語学系講座、健康マージャンなど脳の活性化や交流を目的とした講座については、全体的に増加傾向が見られた。

ジュニア向け講座については、スイミングコースが5%増となり利用者数を維持した一方、その他講座は13%減となった。少子化の影響により児童数が減少する中、受講生の確保には難しさも見られるが、子供の成長や体験機会の充実につながる魅力ある講座づくりが必要であると感じている。

全体としては、昨年度比1%増と安定した利用者状況を維持することができた。今後も利用者ニーズや社会環境の変化に対応しながら、継続しやすい講座運営と魅力ある事業展開に努めていきたい。

《フリービジター営業について》

前年度と比較して、プール利用者は5%増加し、トレーニングジム利用者は14%増加した。

これは、プール・トレーニング会員への移行者が増加したことに加え、会員制度に「フリー利用」が含まれていることから、会員がプールおよびトレーニングジムを積極的に利用する機会が増えたことによるものと考えられる。その結果、全体的なフリー利用率の向上につながった。

フリー利用のみの利用者動向としては、「シニアジム」の利用者が増加傾向にある一方、「シニアプール」の利用者は減少傾向が見られた。シニア世代における健康維持や筋力向上への関心の高まりが、ジム利用増加の要因の一つとして考えられる。

また、フリー利用に係る売上については、現金利用売上は前年度と同程度で推移したが、回数券売上は前年比4%増となり、継続的な施設利用につながっていることがうかがえる。

2 施設の現状に対する認識及び今後の在り方(課題とその解決策)

物価高騰の影響が継続しており、光熱費をはじめとする各種運営経費の増加により、施設運営を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いている。また、施設・設備の老朽化も進行していることから、利用者の安全確保および施設機能の維持を最優先に考え、優先度の高い箇所について計画的に修繕を実施した。今後も、日常点検や予防保全を含めた計画的な維持管理に努め、施設・設備の長寿命化と安全で快適な利用環境の維持を図っていく必要がある。

そのような状況の中においても、健康意識の高まりや継続的な利用促進の取り組みにより、プール・トレーニングジムを中心に会員数は安定的に増加した。特に、会員制度におけるフリー利用の活用が定着し、継続利用につながっていることから、市民の健康づくりの場として一定の役割を果たしているものと考えられる。

一方、講座事業については、新規受講生獲得を目的として無料体験会や各種イベントを定期的で開催し、地域への周知活動に努めたものの、受講生数は全体として減少傾向にある。利用者ニーズの多様化や生活スタイルの変化などへの対応が課題となっており、今後は、地域住民が参加しやすい講座内容や開催方法を検討するとともに、幅広い世代に向けた魅力ある事業展開が求められる。

今後の施設運営においては、「市民の健康づくり・コミュニティづくりの場」としての役割を継続しながら、事業内容の見直しや業務効率化を進め、持続可能な運営体制の構築を図る必要がある。特に、シニア層に加え、20代から50代の働き世代に対する健康増進事業の充実を図り、将来的な医療費・介護費の抑制につながる施設として、地域における存在価値をさらに高めていきたい。

3 施設運営について

(1) 年間の管理運営実績

※ 事業実施報告書（別紙1）、収支決算書（別紙2）、事業実施決算書（別紙3）の
とおり。

(2) 開館日数・休館日数

	開館日数	休館日数	特記事項
R7年度	321	44	3/26 天島行幸啓による休館 ※来訪時間の午後12時から午後6時30分までの間のみ休館 その他の時間借…講座通常開講、プール・トレーニングジム会員はフリー利用のみ利用可
R6年度	322	44	2/4～2/11プール昇温ポンプ故障のため、プールのみ休業 (2/9に修繕実施)
R5年度	319	46	12/10、12/24、1/28、2/11、2/12の5日間で、大規模修繕実施。(高圧ケーブル修繕及びLED照明交換) 11/22～11/24プール用塩素配管工事のため、プールのみ休業 (うち11/23のみ休館)
R4年度	338	27	4/12～14スタッフ内コロナ感染者増加のため休館。 1月以降は第2・4日曜日を休館日とした。 (フリー利用不可。講座のみ実施)
R3年度	348	17	11/21～11/22修繕工事のため休館 2/7～2/20プール亀裂による修繕工事のため、 プールのみ休講

(3) 施設利用者数

講座ジャンル	R7年度		R6年度		R5年度		R4年度		R3年度		R2年度	
	年度末 在籍者数	延べ 在籍者数	年度末 在籍者数	延べ 在籍者数	年度末 在籍者数	延べ 在籍者数	年度末 在籍者数	延べ 在籍者数	年度末 在籍者数	延べ 在籍者数	年度末 在籍者数	延べ 在籍者数
プールトレ会員 (週1コース含む)	320	21,140	344	19,853	320	15,812	296	15,111	311	14,895	316	12,357
ジュニアプール	331	19,494	337	18,724	321	19,494	312	17,695	284	17,134	295	13,180
その他	721	25,702	769	26,201	773	26,285	702	24,271	766	26,576	718	22,093
合 計	1,372	66,336	1,450	64,778	1,414	61,591	1,310	57,078	1,361	58,605	1,329	47,630

フリー種別	R7年度		R6年度		R5年度		R4年度		R3年度		R2年度	
	年度末 在籍者数	延べ 利用者数	年度末 在籍者数	延べ 利用者数	年度末 在籍者数	延べ 利用者数	年度末 在籍者数	延べ 利用者数	年度末 在籍者数	延べ 利用者数	年度末 在籍者数	延べ 利用者数
プールフリー	-	12,254	-	11,825	-	8,656	-	9,198	-	7,994	-	5,362
ジムフリー	-	8,777	-	7,753	-	4,462	-	3,785	-	3,638	-	2,195
合 計	0	21,031	0	19,578	0	13,118	0	12,983	0	11,632	0	7,557

(4) 利用者等に対するサービス向上のための方策

利用者の利便性向上および満足度向上を目的として、「時間」「料金」「施設・設備・用具」「接客・接遇」「プログラム」「情報」の6つの視点に基づき、各種サービス向上策を実施した。

① フリー利用時間の拡大

運動系レッスンの時間設定を見直し、効率的なプログラム運営を行うことで、プールおよびトレーニングジムを自由に利用できる「フリー利用時間」を確保し、幅広い市民が利用しやすい環境づくりに努めた。

② 月会費制の継続運用

運動系講座（プール・トレーニングレッスン）において、自動引き落としによる月会費制を継続運用し、窓口での支払い負担軽減と継続利用しやすい環境整備を図った。

③ 券売機の継続活用

フリー利用者向け券売機を継続して活用し、窓口での現金取り扱いを削減することで、受付時の待ち時間短縮や会計ミス防止に努め、利用者の利便性向上を図った。

④ 受講生（会員）アンケートの実施

受講生（会員）を対象としたアンケートを継続実施し、講師や講座内容に関する意見・要望の把握に努めた。寄せられた意見については講師と共有し、講座内容の改善やサービス向上に活用した。また、新規講座に関する要望についても、実施の可能性を検討した。

⑤ デジタル・アナログを活用した情報発信

「新聞折込」「館内掲示」「ホームページ」「SNS」「市報いしのまき」など、多様な媒体を活用した情報発信を継続し、幅広い世代へ情報が行き届くよう努めた。

⑥ 送迎サービスの実施

交通手段の確保が難しい遠隔地在住の市民に対し、継続して送迎サービスを実施し、来館機会の確保および継続利用の支援を行った。

⑦ 高齢者および障がい者利用への配慮

高齢者や障がいのある方にも安心して利用いただけるよう、「耳マーク」の設置や筆談対応など、利用者に配慮した接客・接遇を継続して実施し、誰もが利用しやすい施設環境づくりに努めた。

⑧ セルフモニタリングの実施

サービスの安全性・快適性・満足度について定期的なセルフモニタリングを継続実施し、評価結果をサービス改善および品質向上につなげた。

(5) 利用者ニーズの把握やその実現策

利用者満足度の向上を図るため、施設側から積極的に利用者の声を聞き取る方法と、利用者から自由に意見をいただく方法の双方を取り入れ、多角的にニーズの把握に努めた。日常的な会話や受付時の聞き取り、アンケート、意見箱などを活用し、幅広い年代・利用目的の利用者から意見を収集した。

① 利用者から寄せられた意見や要望については、内容を精査したうえで、必要に応じて「運営委員会」において共有・分析を行ない、施設運営への反映方法を検討した。特に、安全面や利便性に関する意見については優先的に協議し、迅速な対応を心掛けた。

② 利用者アンケートについては、単に満足・不満足を集計するだけでなく、「なぜ満足したのか」「どの部分に改善点があるのか」まで掘り下げて分析を行なった。接客対応や施設環境、プログラム内容などの項目ごとに課題を整理し、スタッフ間で共有することで、日常業務の改善やサービス向上につなげた。

③ 利用者からの要望や意見のうち、申出者本人が特定できるものについては、可能な範囲で直接回答や経過報告を行なった。対応内容を丁寧に説明することで施設運営への理解を深めていただくとともに、利用者との信頼関係の構築に努めた。また、いただいた意見を真摯に受け止める姿勢を示すことで、利用しやすく意見を出しやすい環境づくりにもつながった。

4 施設管理について

(1) 施設の適正な維持管理の方策

《施設適正維持のための取り組み》

① 定期的な巡回・点検の実施

構成企業の維持管理担当者による定期巡回を実施し、設備機器や館内環境について専門的な視点から点検を行なった。

日常点検では把握しにくい設備の劣化や異常についても確認し、点検結果を関係職員間で共有することで、不具合箇所の早期発見・早期対応につながる体制を整備した。

② 異常箇所の的確な把握と情報共有、計画的対応

点検や日常業務の中で確認された不具合については、内容や緊急度を整理し、関係部署および維持管理担当者間で迅速に情報共有を行なった。

そのうえで、利用者への影響や安全性を考慮しながら優先順位を設定し、計画的かつ効率的な修繕対応を実施した。

③ 年間作業計画の策定と運用

年間を通じた維持管理業務について、点検・保守・清掃・修繕等の実施時期を明記した年間作業計画を策定した。

計画に基づき月ごとの業務管理を行なうことで、作業の抜け漏れ防止と業務の平準化を図り、安定した施設運営につなげた。また、必要に応じて実施状況を見直し、柔軟な運用にも努めた。

④ 安全性・機能性・経済性を重視した判断基準

修繕や設備更新を行なう際には、単なる故障対応にとどまらず、安全性・機能性・経済性を総合的に考慮した判断を行なった。

特に利用者の安全確保を最優先としながら、設備の長寿命化や維持管理コストの抑制にも配慮し、メーカーや専門業者と連携のうえ適切な修繕・更新を実施した。

《施設の管理業務のうち第三者に行わせた業務》

施設管理業務については、共同事業体構成企業である株式会社オーエンスが中心となり実施した。

設備保守管理や点検業務、修繕対応等について、専門的な知識と技術を活かしながら適切な維持管理を行ない、安全で快適な施設環境の維持に努めた。

維持管理業務履行状況一覧

① 設備定期点検業務

NO.	項 目	実施業者
1	自家用電気工作物点検業務	東北電気保安協会
2	消防設備点検業務	熊谷設備
3	ボイラー設備維持管理業務	熊谷設備
4	ばい煙測定業務	熊谷設備
5	貯水槽・回収槽（加圧ポンプ点検含む）清掃業務	熊谷設備
6	水質検査業務（プール水6項目1検体12回/年・給排水1検体1回）	シェル商事
7	空気環境調査	㈱アーツ
8	地下灯油タンク清掃・漏洩検査業務	熊谷設備
9	エレベーター保守点検業務	フジテック㈱
10	自動ドア保守点検業務	フルテック
11	冷温水発生機保守点検（付帯設備含む）業務	テクノ矢崎㈱
12	空調機保守点検業務（点検・フィルター清掃）	熊谷設備
13	機械警備業務	セコム㈱石巻支社
14	プール循環ろ過装置保守点検業務	㈱アリエージェンシー
15	特殊建築物定期報告	石井ビル管理㈱

② 清掃業務

NO.	項 目	実施業者
1	日常清掃	(株)アーツ
2	床定期清掃業務	(株)アーツ
3	窓定期清掃業務	(株)アーツ
4	廃棄物処理(月・火・金)3回/週	石巻環境美化センター
5	マットレンタル14枚 ※2回/月	リースキン
6	トイレ芳香機材 1階2カ所 3階1カ所 ※1回/月	リースキン

(2) 地域社会に対する貢献

「市民の健康づくり・コミュニティづくりの場」として地域に根差した施設となるよう、幅広い世代を対象とした事業やイベントを実施し、地域社会への貢献に努めた。

① 市民の健康・学び支援

市民の健康増進と生涯学習の機会提供を目的として、プール・トレーニングジムの運営をはじめ、運動系・文化系を含む各種カルチャー講座を開講した。

子どもから高齢者まで幅広い年代の方に利用いただき、健康づくりだけでなく、交流や生きがいづくりの場としても活用された。

② 健康チェック・運動体験の場の提供

地域住民が気軽に健康づくりへ取り組める機会として、「健康デー」等のイベントを開催した。体力測定や健康相談、運動体験などを通して、自身の健康状態を見直すきっかけづくりを行なうとともに、運動習慣の定着支援に努めた。また、普段施設を利用していない方にも参加いただくことで、施設利用促進にもつながった。

③ 地域活性化・賑わいづくりを目的としたイベントの開催

地域交流や施設の賑わい創出を目的として、「あいプラザ祭り」をはじめとする各種イベントを開催した。

講座受講生による発表や作品展示、体験コーナー等を通じて、利用者同士や地域住民との交流を深める機会となり、地域コミュニティの活性化に寄与した。

(3) 経費節減のための方策

限られた予算の中で効率的かつ安定した施設運営を行なうため、業務の効率化や光熱水費の削減、物品購入方法の見直しなど、さまざまな視点から経費節減に取り組んだ。また、単なるコスト削減だけではなく、利用者サービスの維持・向上との両立を意識しながら運営を行なった。

① DX推進による業務効率化

月会費制への移行や会員管理システムの活用拡大など、DX推進に取り組んだ結果、受付業務や会員管理業務の効率化が進み、事務作業時間の削減につながった。

情報管理の一元化により、職員間での情報共有も円滑となり、業務全体の効率向上を図ることができた。

② 券売機導入による窓口業務の簡素化

券売機の導入により、利用料金支払い時の窓口対応を簡素化し、受付業務の負担軽減を図った。

現金管理業務の効率化や待ち時間短縮にもつながり、人件費を含めた運営コスト削減に一定の効果が見られた。

③ 消耗品・備品購入方法の見直し

消耗品や備品については、他の管理施設と連携し、一括購入を行なうことでスケールメリットを活かした単価引き下げを実施した。

必要数量を適切に管理しながら購入することで、無駄な在庫の抑制にも努めた。

④ ペーパーレス化の推進

職員間で共有する周知文書やシフト表、業務資料等については、オンラインフォルダやグループウェアを活用し、継続的なペーパーレス化を推進した。

印刷コスト削減だけでなく、情報共有の迅速化や保管管理の効率化にもつながった。

⑤ 通信運搬費の削減

緊急性の低い連絡事項については、メール等を積極的に活用し、電話やFAXでのやり取りを必要最小限に抑えることで、通信運搬費の削減に努めた。

⑥ 小破修繕による外注費抑制

日常点検や巡回時に備品や設備の状態確認を行ない、不具合の早期発見・早期対応を徹底した。

また、軽微な修繕については可能な範囲で職員が対応することで、外部委託費用の抑制につながった。

⑦ 光熱水費の適正管理

水道・電気・ガス等の使用量や館内外の温度を定期的に測定し、ボイラー設定温度の調整を含めた管理を実施した。

異常値の早期発見に努めるとともに、利用状況に応じた適切な稼働管理を行なうことで、効率的なエネルギー運用を図った。

⑧ 燃料購入方法の工夫

灯油等の購入においては、毎月複数業者から見積もりを取得し、価格比較を行なったうえで最も安価な業者へ発注した。

また、価格高騰が予想される場合には、事前に補充を行なうなど、状況に応じた柔軟な対応を行ない、燃料費の抑制に努めた。

⑨ 備品購入時の確認体制強化

備品や消耗品の購入時には、施設独自の発注書を活用し、複数職員による必要性や単価確認を実施した。

適切なチェック体制を整えることで、不要な購入や過剰発注の防止につなげた。

⑩ 節電への継続的な取り組み

館内外の照明については、設置場所ごとに点灯時間を見直し、不要箇所の消灯を徹底した。

また、冷暖房の設定温度を教室内に掲示し、講師や利用者にも省エネルギーへの協力を呼びかけることで、継続的な電力使用量削減に取り組んだ。

(4) 組織及び人員配置並びに従業員の雇用状況及び勤務体制

施設運営においては、円滑かつ安定した管理運営を行なうため、明確な指揮命令系統のもと、適切な人員配置と勤務体制を整備した。

また、利用者に対して質の高いサービスを継続的に提供できるよう、各業務の特性に応じた人材配置を行ない、日常業務から緊急時対応まで柔軟に対応できる体制づくりに努めた。

特に、受付業務や施設管理、各種教室運営においては、経験豊富な従業員を継続配置することで、利用者対応の質の維持向上と業務の安定化を図った。

勤務体制については、施設利用状況や事業内容に応じて適切なシフト管理を実施し、繁忙時間帯には必要な人員を配置するなど、安全かつ効率的な運営に努めた。

(職位・人数等は、別紙「従事者名簿」参照)

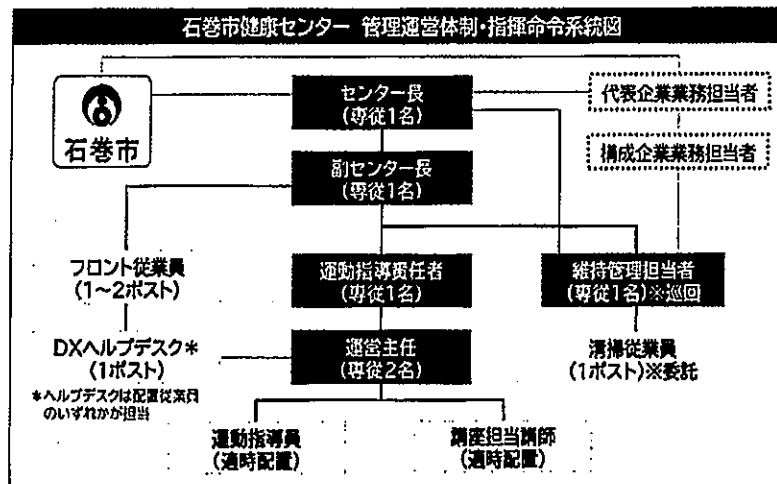
従事者名簿

施設名：石巻健康センター あいプラザ・石巻

令和8年3月末日時点

	職名	所属・担当業務	氏名	常勤・非常勤の別
1	社員(センター長)	統括・総務・経理・保全		常勤
2	社員(副センター長)	センター長補佐・ジム責任者		常勤
3	社員	運動指導責任者・子どもプール責任者		常勤
4	社員	運営主任・プール責任者		常勤
5	社員	運動指導員		常勤
6	社保パート	事務補佐・フロント統括		常勤
7	社保パート	事務補佐・フロント		常勤
8	社保パート	フロント		非常勤
9	アルバイト	フロント		非常勤
10	アルバイト	フロント		非常勤
11	社保パート	運動指導員		常勤
12	社保パート	運動指導員		常勤
13	社保パート	運動指導員		常勤
14	アルバイト	運動指導員		非常勤
15	アルバイト	運動指導員		非常勤
16	アルバイト	運動指導員		非常勤
17	アルバイト	運動指導員		非常勤
18	アルバイト	運動指導員		非常勤
19	アルバイト	運動指導員		非常勤
20	アルバイト	運動指導員		非常勤
21	アルバイト	運動指導員		非常勤
22	アルバイト	運動指導員		非常勤
23	アルバイト	運動指導員		非常勤
24	アルバイト	運動指導員		非常勤
25	アルバイト	運動指導員		非常勤

社員	5名
受付	5名
運動指導員	15名
合計	25名



(5) 従業員の研修実績

利用者に対し「安全・安心な利用環境」と「質の高い健康づくりサービス」を提供するため、従業員一人ひとりの知識・技術向上を目的とした各種研修を定期的実施した。業務に必要な専門知識だけでなく、安全管理能力や接客対応力の向上にも重点を置き、施設全体のサービス品質向上に努めた。

《安全な環境づくりのための研修》

事故や災害発生時にも迅速かつ適切に対応できるよう、安全管理に関する研修や訓練を実施した。

特に、利用者の安全確保を最優先とし、実践的な対応力の向上に努めた。

- ・ 普通救命講習
- ・ 大津波を想定した避難訓練
- ・ 消防訓練

《指導スキル向上のための研修》

利用者一人ひとりに適切な運動指導や健康支援を行なうため、専門知識や指導技術向上を目的とした研修へ参加した。

初心者から高齢者、障がいのある方まで幅広く対応できる指導力の習得に努めた。

- ・ フィットネス基礎ビギナー研修
- ・ 初級パラスポーツ指導員研修
- ・ 基礎水泳指導員講習

《接客・接客研修》

利用者に安心して施設を利用していただけるよう、接客マナーや個人情報保護等に関する研修を実施した。

職員としての基本的な対応力向上を図るとともに、利用者満足度向上につながる接客を心掛けた。

- ・マナーコミュニケーション研修
- ・ビジネスマナー講習
- ・ハラスメント研修
- ・個人情報保護研修

《その他》

職員の意識向上や組織力強化を目的として、各種研修を受講した。

業務に対する主体性やコミュニケーション能力の向上を図り、より良い施設運営につながるよう努めた。

- ・ディスカバリー研修
- ・「7つの習慣」研修

(6) 法令遵守

施設運営にあたっては、関係法令や各種規程を遵守し、利用者および従業員が安心して利用・勤務できる環境づくりに努めた。

特に、個人情報保護や労働環境整備については、内部ルールの策定と適切な運用を徹底し、法令遵守意識の向上を図った。

《個人情報の保護について》

利用者情報を適切に管理するため、「必要最低限の情報取得」「利用目的に応じた使用範囲の限定」を基本方針として運用を行なった。

また、個人情報の保管・使用・公開・訂正・廃棄等に関する取扱規則を整備し、適切な情報管理体制を構築した。

個人情報を含む書類等の廃棄については、シュレッダー処理など復元不可能な方法による廃棄ルールを定め、情報漏えい防止に努めた。

さらに、職員に対して個人情報保護の重要性について周知を行ない、適正管理の徹底を図った。

《従業員の労働環境に関する措置》

① 労働基準法に準拠した割増賃金の支給

時間外労働や深夜労働等については、労働基準法に基づき適正な割増賃金を支給し、法令に則った労務管理を行なった。

勤務時間についても適切に管理し、従業員の負担軽減や働きやすい職場環境づくりに努めた。

② 就業規則の適正な運用と法改正への対応

就業規則については、関係法令の改正や社会情勢の変化に応じて随時見直しを行ない、必要な改定を実施した。

改定内容については職員へ周知徹底を図り、適正な運用を行なうことで、法令遵守意識の向上と健全な職場環境の維持に努めた。

5 その他

(1) 防犯・防災・安全管理の体制や対応

利用者が安全かつ安心して施設を利用できるよう、防犯・防災・安全管理体制の整備を行ない、日常的な巡回や各種訓練を通じて事故・災害の未然防止に努めた。

① スタッフによる館内外の定期巡回を担当制で実施し、不審者の早期発見や設備異常の確認など、防犯・防災対策を徹底した。

また、夜間については機械警備（セコム）を導入し、防犯体制を維持した結果、不審者侵入や緊急出動案件は発生しなかった。

② 緊急時に迅速かつ適切な救命対応が行なえるよう、普通救命講習を受講し、AEDを使用した心肺蘇生法について実践的な研修を実施した。

職員の救命知識向上を図ることで、利用者の安全確保に努めた。

③ 消防署立会いのもと防災訓練を実施し、火災発生時を想定した避難誘導訓練や初期対応のシミュレーションを行なった。

訓練を通じて職員間の役割分担や連携方法を再確認し、非常時対応力の向上を図った。

④ 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」に基づき、不当要求防止責任者としてセンター長を選任し、適切な対応体制を整備している。

利用者や職員が安心して利用・勤務できる環境維持に努めた。

(2) 災害等の非常時の体制や対応

災害発生時において利用者の安全を最優先に行動できるよう、危機管理体制の整備と職員への周知徹底を図った。

① 石巻市地域防災計画に基づき、本施設の特性に応じた「危機管理マニュアル」を作成し、全従業員が内容を理解できるよう周知を行なった。

また、法令改正や対応方針の変更等を踏まえ、今年度も内容の見直しを行ない、実情に即した運用に努めた。

② 講師および受講生（会員）に対して、「災害時における当センターの対応について」の資料を配布し、災害発生時の避難方法や職員の対応について周知を行なった。

講座開催中に災害が発生した場合でも、円滑な避難誘導が行なえるよう備えている。

（３） 情報公開を行うための措置について

市民の知る権利を尊重し、石巻市情報公開条例に基づき、適切な情報公開に努めている。

情報公開請求に円滑かつ適切に対応できるよう、各種記録や運営資料については、日頃から整理・保管ルールを定め、文書管理を徹底した。

また、施設運営の透明性向上と利用促進を図るため、施設利用案内や各種事業・イベント情報等について、ホームページや館内掲示、SNS等を活用し、積極的な情報発信を行なった。

利用者に分かりやすい情報提供を心掛けることで、施設への理解促進と利便性向上につなげた。

（４） 特記事項

特になし。

(別紙1)

事業実施報告書（令和7年度）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
会員コース (プール)	・運動習慣の定着や生活習慣病の予防を目的とした教室を企画・実施し、健康づくりを支援した。 ・水中運動(泳法の習得、水中ウォーキングやアクアビクス等)を通じて、体力向上といきいきとした日常生活を目的とした教室を提供・実施した。 【成人スイミング・成人スイミングマスターズクラス・楽しく水中ウォーキング ・健康水中運動・流水ウォーキング・アクアビクス・アクアズンバ・ベビースイミング・ジュニア向けスイミング(幼児・小中学生)・選手育成クラス など】	4月～3月 年間42回開催
会員コース (トレーニング)	・運動習慣の定着や生活習慣病の予防を目的とした教室を企画・実施し、健康づくりを支援した。 ・高齢者の介護予防や転倒防止、自立支援を目的とし、健康維持と生活の質の向上を目指した教室を提供・実施した。 【元気ですこやか「健康体操教室」 ・ゆったり筋トレ・楽しく有酸素運動 ・関節痛改善トレーニング・腰痛体操 ・筋膜リリースとストレッチポール ・エアロでリフレッシュ・健康ダイエット など】	4月～3月 年間42回開催

体の健康づくり講座 (その他)	・運動習慣の定着や生活習慣病の予防を目的とした教室を企画・実施し、健康づくりを支援した。 ・趣味活動やダンスなどを通じて、技術の習得や体力の向上を図り、心身の健康や仲間づくりにつなげることを目的とした講座を提供・実施した。 【自強術・気功太極拳・簡単筋トレとストレッチ・各種ヨガ教室・各種ダンス・K-POPダンス・キッズ空手・クラシックバレエジュニアクラス など】	前期 4月から9月 後期 10月から3月 各期 22回から25回 ※月1回や隔週で実施の事業あり
心の健康作り講座	・趣味や芸術活動を通じて、ストレスや疲労の軽減を図るとともに、心のゆとりや感性の豊かさを育むことを目的とした講座を企画・実施した。 【外国語・舞踊・華道・書道・絵画・手工芸・音楽・教養・小中学生向け将棋教室・子ども書き方教室・マンドリンジュニア・子どもピアノ教室・子ども英会話 など】	前期 4月から9月 後期 10月から3月 各期 22回から25回 (月1回や隔週で実施の事業あり)
サンデープログラム 平日の短期講座	・平日に受講が難しい方や、長時間の受講が困難な方を対象に、日曜日のみで完結する「サンデープログラム」として、1～2か月単位で受講できる短期集中型の講座を企画・実施した。 【各種ヨガ・ハーブでお風呂を楽しみましょう・日常のマナーを英語と日本語でレッスン・ジェルランタンを作ろう・ふわもこクリスマスツリー作り・書き初め宿題おたすけ教室 など】	前期 4月から9月 後期 10月から3月 各期 1回から8回
健康相談事業	・石巻市健康推進課栄養士と健康運動指導士による連携のもと、食生活の改善と身体活動の習慣化を目的とした栄養・運動相談事業を実施した。 【運動相談会】	3月 14日間

選手育成コース 不随事業	・選手育成コースの大会出場時の安全管理やチーム管理等行った。泳力強化のための各種練習会の実施。 【BC級大会、A級大会等】	4月から3月 40日間
健康づくりの アウトリーチ事業	・石巻市からの依頼により、「特定保健指導における運動支援」へ運動指導士の派遣を行い、健康づくりを支援した。 【特定保健運動指導】 ・石巻市内の幼稚園からの依頼に基づき、「園外水泳教室」へ水泳指導員を派遣し、安全で楽しい水泳指導を行った。 【カトリック幼稚園、桃生幼稚園】	10月から2月 3日間 6月から9月 4日間

注意

- 1 年間（年度中途から管理を行っている場合は、その中途の日から年度末まで）の実施事業を記入してください。
- 2 年度ごとに作成してください。

(別紙2)

令和7年度（石巻健康センター）の管理運営に関する収支決算書

団体名：フクシ・オーエンス共同事業体

(単位：円)

項目	金額	内訳	備考
指定管理料	41,000,000	石巻市	41,000,000
利用料金	73,408,250	講座受講料 フリータイム利用 貸切使用	69,664,130 3,647,220 96,900
その他	4,477,759	自主事業収入 原子力立地給付金	4,343,119 134,640
収入合計 ①	118,886,009		118,886,009
人件費	51,449,713	社員(5人) アルバイト・パート20人) 業務管理費 ※詳細は別添収支実績資料のとおり	25,428,392 23,021,321 3,000,000
事務費	8,582,874	租税公課 手数料・雑役務費 通信運搬費 事務用消耗備品費 事務用消耗品費 保険料 その他予備費	5,404,516 1,480,808 347,857 203,132 726,561 420,000
事業費	19,235,133	印刷製本費 宣伝広告費 講座謝金等 講師出張旅費 講座解約による受講料返還 自主事業支出	1,066,029 752,394 12,747,330 1,424,266 742,100 2,503,014
管理費	37,114,146	賃借料 施設保守 備品保守 管理用消耗品費 修繕費 光熱水費 下水道使用料	5,172,968 10,034,947 1,316,480 606,919 1,704,754 17,073,835 1,204,243
支出合計 ②	116,381,866		
収支 ①-②	2,504,143		

注意

- 1 年間（年度中途から管理を行った場合は、その中途の日から年度末まで）の収支を記入してください。
- 2 年度毎に作成してください。

(別紙3)

令和7年度 事業実施決算書

団体名：フクシ・オーエンス共同事業体

(単位：円)

事業名	事業実施決算								
	応募人数	収入①			支出②				収支 ①-②
		参加費	その他	計	講師 謝礼金	材料費 等	その他	計	
体の健康づくり (プール・トレ会員)	16,286	11,888,800		11,888,800	0			0	11,888,800
体の健康づくり (プール週1)	3,427	5,328,130		5,328,130	1,352,850			1,352,850	3,975,280
体の健康づくり (トレーニング週1)	1,362	1,597,500		1,597,500				0	1,597,500
体の健康づくり (ジュニアプール)	19,499	19,344,700		19,344,700				0	19,344,700
体の健康づくり講座 (ヨガ・太極拳・氣功等)	5,714	7,114,800		7,114,800	2,413,304			2,413,304	4,701,496
体の健康づくり講座 (エアロビクス・各 種ダンス)	3,125	3,848,400		3,848,400	1,406,548			1,406,548	2,441,852
体の健康づくり講座 (ジュニア向け講座)	1,617	1,981,200		1,981,200	665,268			665,268	1,315,932
心の健康づくり講座 (外国語)	2,151	2,658,200		2,658,200	955,820			955,820	1,702,380
心の健康づくり講座 (ジュニア向け講座)	2,893	3,496,800		3,496,800	1,299,080			1,299,080	2,197,720
心の健康づくり講座 (舞踊・茶道・華道)	1,189	1,452,000		1,452,000	489,650			489,650	962,350
心の健康づくり講座 (書道・絵画)	2,988	3,589,200		3,589,200	1,374,870			1,374,870	2,214,330
心の健康づくり講座 (手芸・手工芸)	1,341	1,695,600		1,695,600	627,860			627,860	1,067,740
心の健康づくり講座 (趣味・音楽・教養・美容)	4,595	5,668,800		5,668,800	2,162,080			2,162,080	3,506,720
フリービクター利用	11,247	3,647,220		3,647,220	0			0	3,647,220
フリー会員利用	10,064	0		0	0			0	0
貸切利用	138	96,900		96,900	0			0	96,900
計	87,636	73,408,250	0	73,408,250	12,747,330	0	0	12,747,330	60,660,920

注意 自主事業を行っている場合は、指定管理業務と分けて別途作成してください。

(別紙3)

令和7年度 自主事業実施決算書

団体名： フクシ・オーエンス共同事業体

(単位：円)

事業名	自主事業実施決算								
	応募人数	収入①			支出②				収支 ①－②
		参加費	その他	計	講師 謝礼金	材料費 等	その他	計	
自動販売機収入		483,894		483,894				0	483,894
コピー・各種再発行		101,895		101,895				0	101,895
物品販売		2,150,860		2,150,860		1,736,278		1,736,278	414,582
原子力立地給付金		134,640		134,640				0	134,640
受取利息		45,897		45,897				0	45,897
※ 外部委託講師料収入		314,320		314,320				0	314,320
その他 (大会関係・イベント 収入等)		1,246,253		1,246,253	30,000		736,736	766,736	479,517
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
計		4,477,759	0	4,477,759	30,000	1,736,278	736,736	2,503,014	1,974,745

注意 自主事業を行っている場合は、指定管理業務と分けて別途作成してください。

※(株)フクシ・エンタープライズスタッフを講師として派遣しているため、講師謝礼金等の経費は発生しない。
(事業実施決算書中、人件費の計上に含まれる。)